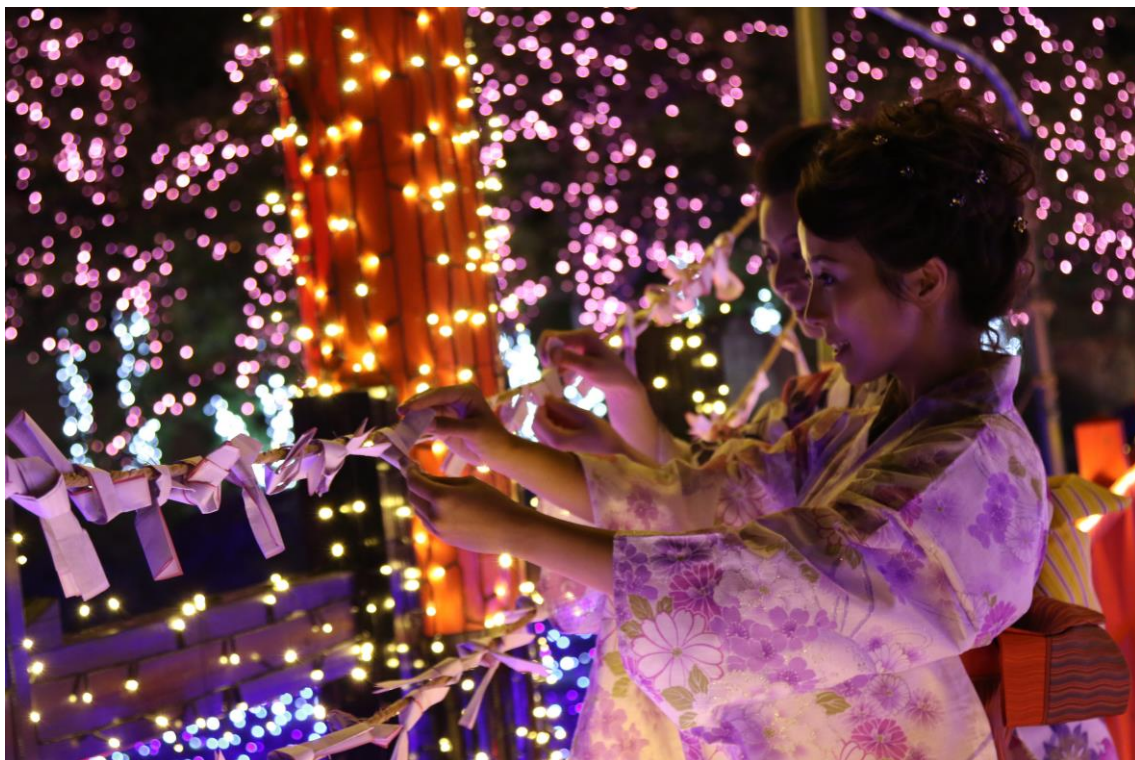


迷い込んだのは、不思議な世界・・・

京都で話題の新スポット・

映画村『御利益イルミネーション』に行ってみた！



この夏、京都のテーマパーク・東映太秦映画村に期間限定のパワースポットが出現！青く幻想的に光るイルミネーションの海にそびえたつ高さ4メートルの大鳥居など、光で演出されたおみくじスポットがあなたの運勢を占います。

この話題の新スポットを、時代劇で活躍中の東映京都のフレッシュな女優さんが体験してみました！



やってきました。東映太秦映画村！

今日体験するのはワタクシ、映画村芸能部養成所所属の鰐口千晴（右）です。まだまだ修行中の女優のタマゴです。いろんな映画やテレビに出ている大先輩の小林茉莉江さん（左）にもついてきてもらいました。映画村にも出演されているので、運が良ければ遭遇できるんですよ。先輩、今日はよろしくお願いします！



こんな「おみくじ巡り」シートを配っていますので、まずはゲット。ふむふむ、映画村の中にはおみくじスポットが3つあるそうです。3つのおみくじの結果によってご利益度が判定されるようです。茉莉江先輩、全部制覇してご利益をいただきましょう。

<不思議な世界へ誘う、キラキラ電車！>



江戸の町に出るといきなりインパクトある電車出現！光ってます。これがおみくじスポットの一つ『幸せの電車』ですね。ここから「おみくじ巡り」のスタート。中に乗り込むと占いがありますのでさっそくチャレンジ。



かわいい御利益小明神のアニメが占ってくれました。私も茉莉江先輩も大吉！幸先いいスタートです！

<映画村ならではの！あやしく光る江戸の街を堪能！>



いつも撮影で来る、昼間とは全く違う顔の映画村。あやしくてロマンチックなパノラマに、先輩、わたしキューンってしちゃいます！吉原や池田屋など江戸の町もライトアップされています。池の水面には光の華が咲いていて、ロマンチックなパノラマが広がります。こんな和のライトアップは映画村ならではのもの。



枝垂れ桜と竹のイルミネーション。かぐや姫の1シーンみたいです。

<女神のルーレットがくるくる回る>



第2のおみくじスポット発見しました！『福の女神』です。泉のまわりをぐるっと一周イルミネーションが取り囲んでいます。スタートボタンを押すと、イルミネーションがルーレットのようにまわりだしました！止まった！吉です！茉莉江先輩は中吉です。いい感じですね、先輩！

<映画村の隠れた人気者、御利益大明神！>



いよいよ最後、3つ目のおみくじスポットに到着。御利益大明神です（写真では写ってませんが鳥居の奥に15分に1度大明神が顔を出します！）。レインボーカラーに輝く鳥居をくぐると・・・鳥居がピカピカ点滅を始めました。御利益大明神の声が聞こえます。やったー、また大吉です！今日はホントについているかも！茉莉江先輩は・・・凶？あらら、先輩ドンマイ！

<すごおい！大鳥居>



おみくじスポットを制覇したので、ゴールポイントの大鳥居に向かいます。青く光るイルミネーションの海をわたって大鳥居の下に来ました。まるで厳島神社みたいですね。これは絶好のフォトポイント。さておみくじシートに願いをかけて結びましょう。私の願いはもちろん「早く一人前の女優になること」。そうだ、「彼氏募集中」も小っちゃく書いとこっと。茉莉江先輩は何を書いたんですか？ひみつ？ずるい！



映画村ナイターまつりは8月6日からです。今度は彼をつくってもう1回きたいな。あなたも夏の一夜、気になる人を誘って、映画村で不思議な世界にトリップしてみたいはいかがですか？

【イベント概要】

映画村ナイターまつり『夏のイルミネーション』2016
<http://www.toei-eigamura.com/event/detail/134>

開催期間：8月6日(土)、7日(日)、11日(祝)～16日(火)、20日(土)、21日(日)
開催時間：17:00～21:00(東映太秦映画村の営業は9:00から)
開催場所：東映太秦映画村(<http://www.toei-eigamura.com>)
〒616-8586 京都市右京区太秦東蜂岡町10番地

<東映太秦映画村・入村料(消費税込み)>

大人 2,200円 [ナイター料金 1,500円]
中高生 1,300円 [ナイター料金 1,000円]
子供(3歳以上) 1,100円 [ナイター料金 800円]

* 17:00からはお得なナイター特別料金

アクセス：JR嵯峨野線「太秦」駅下車徒歩5分
嵐電「太秦広隆寺」駅下車徒歩5分
京都市営地下鉄「太秦天神川」駅下車徒歩12分
名神高速道路京都南ICから約11km

【イベントに関するお問い合わせ】 Tel075-864-7752 Fax075-864-7772
東映太秦映画村 企画制作部 担当/大守、行吉(ゆくよし)、坂本